

令和6年度 事業実績及び令和7年度事業中間報告について

〈関西チャレンジ〉
① 強みで貢献
② 強みを活用
③ 強みを発揮

チャレンジ	事業名(担当課名)等	令和6年度 事業概要	数値目標	実績	令和7年度 事業概要 (R6からの変更点)	目標及び進捗状況
①	関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業 (スタートアップ支援課) 〈事業開始年〉 R3	関西スタートアップ・エコシステム情報発信戦略に基づき、次の事業を実施。 (1) 域内スタートアップの情報収集・スタートアップDBへの登録 (2) 国内カンファレンスやピッチイベント等での情報発信 (3) Crunchbase等の海外メディアへの情報発信 (4) 関西スタートアップ・エコシステムの情報発信イベントの開催 (5) 関西スタートアップ・エコシステムポータルサイトの運営 等	(1) スタートアップDBへの登録: 240社(累計)、Crunchbase等海外有力データベースへの登録: 220社(累計) (2) 国内イベント情報発信: 3回 (3) 海外メディア情報発信: 2回 (4) 情報発信イベントの開催: 1回	(1) 【スタートアップDB】 累計: 667社(R6: 195社)【Crunchbase】 累計: 349社(R6: 50社) (2) 3回 (3) 2回 (4) 1回	(1) 前情報発信戦略(2021-2024)をふまえた次期情報発信戦略の策定 (2) 関西スタートアップ・エコシステムポータルサイトのリニューアル (3) 関西スタートアップ・エコシステムの情報発信イベントの実施 (2回程度/年) (4) 国内外のデータベースとの連携やそのほか効果的な方法により「Global Startup Ecosystem Ranking」などのランキングや国際的な影響力があるデータベースへの掲載に向けた情報発信活動(2回程度/年)	【目標】 (1) 次期情報発信戦略の策定 (2) 関西スタートアップ・エコシステムポータルサイトのリニューアル (3) 関西スタートアップエコシステムに関する情報発信 (4) イベントの開催: 2回 ・海外メディアを活用した関西のスタートアップ情報の発信: 2件 ・「Global Startup Ecosystem Ranking」などのランキングの維持向上 ・情報発信イベント参加者アンケートの「関西スタートアップ・エコシステムに魅力を感じた」と回答した割合: 70%以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) (3) ◆関西スタートアップエコシステムに関する情報発信イベントの開催 ・Osaka Climate Innovtion Forum ・セッション登壇による関西広域連合の情報発信 事業の紹介 ・開催日: 9月18日(木) ・会場場所: グランフロント大阪北館
①	ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化 (ライフサイエンス産業振興課) 〈事業開始年〉 R3	欧州を含む海外諸国や日本全国から参加がある「BioJapan」の場で、国内外に向けた情報発信やビジネスマッチングを支援する。	・BioJapanマッチング件数: 参加企業数×6倍以上 ・BioJapan期間中、関西広域連合ブースに誘引するため関西広域連合のパンフレットを手交: 300部以上	・マッチング件数107件(参加企業×8.9倍) ・パンフレット配付数: 442部	開催時期: 令和7年10月8日(水)～10日(金) 場 所: パシフィコ横浜(横浜市西区) 対象分野: 医薬・創薬、食品/農林水産/畜産、研究用機器・試薬・消耗品/設備など 実施事業: ア 関西広域連合ブースの出展による域内企業の技術展示 イ パートナリングシステムを利用したビジネスマッチング ウ 会場内セミナーの開催による関西のポテンシャルのPR 広域連合ブースへの出展及びマッチング参加企業等: 計12者(1構成府県市につき1者)	【目標】 (1) BioJapanマッチング申込件数: 参加企業数×20件以上 BioJapan期間中の関西広域連合パンフレット配布: (2) 400部以上 (3) BioJapanマッチング件数: 参加企業数×6倍以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) ◆BioJapan2025ブース及びセミナー枠を確保 (1) ◆展示・マッチング参加企業等12者を決定 (3) 各参加企業等において、マッチング申込を実施中 ◇BioJapan2025会場内でセミナーを実施 (1) 日 時: 令和7年10月9日12:05～12:35 (3) 場 所: メインステージ 講 師: 株式会社IPSポータル BRR部部長 堀 清次 氏 題 名: 百万遍IPS創薬クロスロード事業について ※広域連合BioJapan部会幹事東京都府による推薦

チャレンジ	事業名(担当課名)等	令和6年度 事業概要			令和7年度 事業概要 (R6からの変更点)	目標及び進捗状況
			数値目標	実績		
①	「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」の実施 (グリーン産業振興課) 〈事業開始年〉 H25	水素・燃料電池、蓄電池等の「カーボンニュートラル」に資する技術をテーマとし、域内の大学、研究機関等の研究者による発表と、実用化を目指す最新の研究成果を紹介し、参加者とのマッチングを目指す。	・参加者:210人以上 ・参加者アンケートの「今後の事業活動に有益な情報を得ることができた」と回答した割合:70%以上	・参加者:259人 ・参加者アンケートの「今後の事業活動に有益な情報を得ることができた」と回答した割合:94%	開催時期:令和7年12月2日(火) 開催場所:大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー テーマ:水素などの次世代のエネルギーや電池等のカーボンニュートラルに資する技術 内容:ア 特別講演 イ 研究成果発表/先進技術紹介 ※万博時に披露された最先端技術を中心に発信 ウ ポスターセッション/交流会	【目標】 (1) 「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」の実施 (2) 参加者:220人以上 (3) 参加者アンケートの「今後の事業活動に有益な情報を得ることができた」と回答した割合:70%以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) ◇「カーボンニュートラル先進技術フォーラム」の開催
②	関西広域産業共創プラットフォーム事業の推進 (ものづくり支援課、産業振興企画課) 〈事業開始年〉 R4	PFの認知度向上及び持続可能な仕組み、体制を確立する。 (1) 企業ニーズに応える事業化支援強化事業 ア 企業相談対応 イ ポータルサイト「かんさいラボサーチ」の運営 ウ 産業技術支援フェア (2) 広域的プロジェクト組成に向けた調査事業 (3) 公設試・連携機関との連携促進のための活動・PR等	・プラットフォーム利用企業の満足度:80%以上 ・「かんさいラボサーチ」アクセス件数:23,000件以上 ・公設試のシーズに対する企業ニーズとのマッチング(面談)の件数:30件以上	・プラットフォーム利用企業の満足度:89.7% ・「かんさいラボサーチ」アクセス件数:35,192件 ・公設試のシーズに対する企業ニーズとのマッチング(面談)の件数:29件	(1)企業ニーズに応え、公設試のポテンシャル向上に資する「事業化支援」の推進 ・コーディネーター(CD)が企業の相談に対応し、事業化レベルに応じて支援 ・域内公設試等のシーズと企業ニーズのマッチング ・ポータルサイト「かんさいラボサーチ」の運営 (2)公設試・連携機関との連携促進と事業プロモーション ・CD・公設試・連携機関の交流機会の充実 ・PF事業の成果事例の発信 ・域内府県市や公設試のプロモーションコンテンツの共有・活用	【目標】 (1) プラットフォーム利用企業の満足度:80%以上 (2) 「かんさいラボサーチ」アクセス件数:36,000件以上 (3) 公設試のシーズに対する企業ニーズとのマッチング(面談)の件数:30件以上 (4) 公設試職員向け研修・交流会の参加者数:75名以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) (1) ◇プラットフォーム利用企業の満足度:73.7% (ご相談者に対し、迅速かつ丁寧な対応を行うとともに、コーディネーターや公設試、連携機関と円滑に連携し最適な解決策を提供することにより、満足度向上を図る。) (2) ◇「かんさいラボサーチ」アクセス件数:15,000件見込 (コンテンツの更新・追加等の改修により、機能を向上させるとともに、イベントへの出展チラシ配布等の認知度向上に向けたPR活動により、アクセス数増加を図る。) (3) ◇公設試等のシーズに対する企業ニーズとのマッチング(面談)の件数:2件 (域内公設試・企業等のシーズの発掘に取り組むとともに、委託事業者等のネットワークから有望な企業には個別にアプローチする等の取組みにより、マッチング数の増加を図る。) (4) ◇公設試職員向け研修・交流会の参加者数:ー (10月、1月に実施予定)

チャレンジ		令和6年度 事業概要			令和7年度 事業概要 (R6からの変更点)	目標及び進捗状況
	事業名(担当課名)等		数値目標	実績		
②	ものづくりをはじめとする地域魅力の発信 (国内でのプロモーションの実施) (ものづくり支援課) 〈事業開始年〉 H29	関西が誇るものづくり技術やプロダクトのコアユーザーをより増やすため、関西国際空港にて、地域に根差した地場産業や伝統工芸等をパネルや製品展示で紹介するとともに、ワークショップを行うイベントを開催。	ワークショップ参加者数:100人以上	ワークショップ参加者数:163人	大阪・関西万博での関西の魅力の発信事業へ統合して実施	
②	ものづくりをはじめとする地域魅力の発信 (海外でのプロモーションの実施) (経済交流促進課) 〈事業開始年〉 H29	2025年大阪・関西万博の開催を機会に、海外政府機関等が派遣するビジネスミッション等に向けて、構成府県市における各地域に根ざした産業や、高い技術力を誇る企業等の産業視察先の情報をとりまとめたPRツールを作成することで、域内企業と海外企業等とのビジネス交流機会の創出につなげる。 関西広域連合において各構成府県市の情報を一元化してPRすることにより、個性豊かな各地域それぞれの特色を一目で見やすく提供する。	PRツールにおいてとりまとめる視察先:30件以上	PRツールにおいてとりまとめる視察先:30件	大阪・関西万博を契機に海外政府機関等が派遣するビジネスミッション等に向けて、関西の産業魅力や域内の企業・産業視察先等の情報をとりまとめた専用WEBサイトによるPRを実施。 専用WEBサイトに視察先を追加(20件程度:計50件程度)するとともに、幅広く海外へ域内企業の魅力を発信し、域内企業と海外企業とのビジネス交流機会の提供や域内企業等の海外販路開拓につなげていく。	【目標】 (1) 海外からの視察対応可能な企業の海外向けWEBサイトへの掲載数:20企業拡充(計50企業) (2) 構成府県市等の情報発信ツールを活用した同WEBサイトの紹介数:50件以上 (3) 海外向けWEBサイト閲覧数:2,000件以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) (1) ◆海外からの視察対応可能な企業の海外向けWEBサイトへの 掲載数:20企業拡充(計50企業) (2) ◇構成府県市等の情報発信ツールを活用した同WEBサイトの紹介数:50件以上 (3) ◇海外向けWEBサイト閲覧数:2,000件以上

チャレンジ	事業名(担当課名)等	令和6年度 事業概要			令和7年度 事業概要 (R6からの変更点)	目標及び進捗状況
			数値目標	実績		
② ③	【R6】 大阪・関西万博に向けた文化発信イベントへの参画 (産業振興企画課) 〈事業開始年〉 R6	関西のものづくり産業等の魅力向上のため、広域観光・文化・スポーツ振興局が行う大阪・関西万博に向けた文化発信イベント「KANSAI感祭 in OSAKA」において、展示会等を開催。 (1)ものづくり作品展の開催(文化課との連携事業) (2)日本酒関連事業者と公設試の連携促進(農林水産部との連携)	(1) ものづくり企業への興味・関心が高まったと回答した学生の割合:75%以上 (2) ・ブース来場者数:500名 ・公設試の取組について理解・関心が深まったと回答した方の割合:75%以上	(1) 79% (2) ・ブース来場者数:425名 ・公設試の取組について理解・関心が深まったと回答した方の割合:84%(アンケート回答数:300)	【R7事業名】 大阪・関西万博での関西の魅力を発信 万博の来場者に対し、ものづくり産業をPRする催事として、下記取り組みを開催する。 開催期間:9月29日(月)～10月4日(土)(6日間) 開催場所:大阪・関西万博会場内 ギャラリーEAST、ポップアップステージ南 催事内容: ①トークセッション:ものづくり産業をテーマにしたトークセッション ②展示会:伝統的工芸品を紹介する展示会 ③ワークショップ:域内の伝統工芸品を活用したワークショップ	【目標】 (1) 展示会等の延べ来場者数:3,300人(6日間計) (2) 関西の伝統的工芸品について興味・関心が高まった人の割合:70% 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) ◇【9月29日(月)～10月4日(土)に実施予定】 ※詳細別添チラシ参照
② ③	広報活動やセミナー等による情報発信 (産業振興企画課) 〈事業実施期間〉 通年 〈事業開始年〉 — ※「from NOW ON KANSAI」の発行はR2から ※「eラーニング教材」の提供はR7から	(1) 広報活動の実施 (2) ビジネス情報誌「from NOW ON KANSAI」の発行等による情報発信 (3) セミナーの開催 ・テーマ: 外国人雇用・育成就労制度について	(1) 情報紙読者の満足度:75%以上 (2) 上 (3) WEBセミナー視聴数:200回以上 WEBセミナーの満足度:75%以上	(1) 情報紙読者の満足度:100% (2) WEBセミナー視聴数:322回 (3) WEBセミナーの満足度:97%	(1) 広報活動の実施 広域産業振興局や構成府県市の施策、関西の産業情報等について、ホームページの更新やメールマガジン・SNSの配信および広報紙等の作成により、域内外に向け、最新情報の提供を行う。 (2) ビジネス情報紙「from NOW ON (3) eラーニング教材の提供 域内の市町村が実施する特定創業支援等事業において、補充ツールとして活用できるeラーニング教材を作成し展開。	【目標】 (1) 企業の先進的な取組等を取り上げたビジネス情報紙・WEB版の発行:4回 (2) 情報紙読者の満足度:75%以上 (3) eラーニングツールの導入市町村:50市町村利用市町村のうち「創業支援に有効であった」と回答した割合:80%以上 【進捗】(◆実施済み ◇取組み中又は今後実施) ◇ホームページの古い情報等の随時更新 (1) ◇月2回程度のメールマガジン配信、広域産業振興局関連イベントのSNS配信 (2) ◆6月30日(月) from NOW ON KANSAI vol.18 (3) 『「脱プラのその先」を目指す企業次世代に向けたビジネスのあり方とは? ～株式会社ワカサ』発行 ◇年度内にfrom NOW ON KANSAI vol.19～21発行予定 vol.19 伝統産業 vol.20 多様な人材の活用 vol.21 MaaS、DX等 ◆6月12日市町村説明会開催 ◆6月25日eラーニング教材提供開始 ◇eラーニング教材の利用にかかる市町村アンケートの実施